

第17単元 かけ算の筆算(2)A

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	55 (各5)	① 744 ② 560 ③ 552 ④ 3990 ⑤ 2720 ⑥ 3555 ⑦ 3192 ⑧ 3600 ⑨ 9450 ⑩ 9552 ⑪ 3800	〔知技〕2、3位数×2位数の筆算ができる。	筆算の仕方が分からない児童には、計算の仕組みを振り返らせるようにし、位の位置、繰り上がりに気をつけるようにさせる。およその数で答えの見当をつけさせたり、交換法則を用いたりするなど、答えを確かめる習慣も身につけさせたい。
②	20 (各10)	① 4 ② 30	〔知技〕2位数×2位数の計算の仕方を理解している。	②で3と誤答した児童には、乗数34を30と4に分けて計算していることをおさえるようにする。
③	式	57×14=798	〔知技〕場面に応じた立式ができる。問題を解決することができる。	④は、設問文では乗数、被乗数の順に提示されているので注意させる。
	答	798円		
④	式	195×28=5460		
	答	5460円		

第17単元 かけ算の筆算(2)B

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 80 ② 8	〔思判表〕交換法則と結合法則、分配法則などの乗法のきまりを用いて、2位数×2位数の計算の仕方を説明している。	とまどっている児童には、これまでに学習した乗法のきまりを想起させる。
②	① 20 ② 3 ③ 20 ④ 3 (①と②は入れ替わっても可)		

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	5問以上	4～3問	2問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。